

更生保護サポートセンター 和歌山

人はみな、生かされて、生きてゆく。

和歌山市八番丁4
和歌山保護司会
更生保護サポートセンター
発行 保護司会会長
編集 企画調整保護司
073-460-9298

和歌山保護司会「社会貢献活動」いよいよスタート！ きれいになりました車椅子



決めました。活動の流れは次のとおりです。

午後1時現地集合

直ちにオリエンテーション。

太田担当より、活動の狙いや活動内容の説明を受け、対象者だけではなく参加者全員が活動目標を定め、発表しました。

午後1時30分作業開始

園のメンテナンス担当責任者より清掃の手順とポイントの説明を受けて作業開始。

午後2時50分作業終了

途中で休憩を挟む予定であったが、それに気付かぬほど作業に集中。その後、園利用者の方々の交流と施設見学。

午後3時10分活動のまとめ

対象者は「振り返りシート」の記入。他の参加者も自己の活動の自己評価や反省点等について話し合う。

午後3時30分活動終了。

去る7月25日(水)和歌山市田野の社会福祉法人「わかうら園」において、最初の社会貢献活動が実施されました。この日の参加者は、保護観察対象者と担当保護司、南支部社会貢献活動担当保護司2名(わかうら園担当)観察所より太田担当の合計5名。以後毎月1回計5回の活動が予定されています。当日の活動については、事前打合せ会において受入施設側と話し合い、園の車椅子の整備・清掃と施設利用のお年寄りの方との交流でした。また、参加者の5名は、更生保護関係者ではなく、「ひまわり会」という一般ボランティアグループのメンバーとして活動することも取り



受入れ施設の方との「事前打ち合せ会」の様子

思っていた以上に手間のかかる作業で、仕上げた台数も6台と少なかつたが、施設の方からの感謝とお褒めの言葉に安堵。また、対象者の振り返りシートという言葉に嬉しくなり、清々しい気持ちで園を後にしました。

社会貢献活動の概要

社会貢献活動の目的
地域に役立つ活動により地域住民等から感謝されることにより、自己有用感が醸成される。また、地域住民との交流が、社会性や規範意識の向上に繋がる等の処遇効果により改善更生及び再犯防止を図ること。

社会貢献活動の内容
(ア) 地域社会の利益の増進に寄与するもの 活動自体が地域社会に役立つ活動 地域のニーズに対応した活動 活動自体が直接社会に役立つとまでは言えないが、結果として社会に役立つ活動 (イ) 保護観察対象者の自己有用感の涵養

及び社会性の向上を促すことが出来るもの。自己有用感の涵養等の処遇効果を上げるために、対象者単独での活動ではなく、地域社会や活動協力者とのコミュニケーションを図る必要がある。

実施対象者
(ア) 不労・不就学の状態が続いている。(イ) 所属していた不良集団の影響により本件に至った。(ウ) 本件が軽微であって、同種事件を反復し、遵法意識が乏しい等の者

実施体制
社会貢献活動担当官(保護観察所の保護観察官・1名以上)業務は活動場所の確保や活動の企画・準備と実施。

社会貢献活動担当保護司
活動場所ごとに1名以上指名。主な業務は、活動の準備と実施及びその他の活動に関する事務を行う。

社会参加活動との違い
社会参加活動が地域に役立つ活動にあるのに対し、社会参加活動は、レジャーやスポーツ、社会体験などのレクリエーション活動も含むもの。また、社会参加活動は主に少年を対象としていたものに対し、社会貢献活動は成人も対象としたもの。

社会貢献活動の位置づけ
保護観察処遇の選択肢を拡充することにより処遇を充実・強化し、犯罪者の再犯防止と更生改善に資するため、対象者の同意に基づき先行実施するものである。法整備を行い本格実施されるまでに、活動の検証・改善を行うものである。

今後の行事・研修会の予定 (広報紙発行日以降の予定)

主催者	行事名 (内容)	開催日	時間	
和歌山保護司会	人権フェスタ映画会(準備等担当:保護司会 総務部) 和歌山保護司会・更生保護女性会・BBS会共催 和歌山保護観察所後援	11月 17日	午前10:00~2回 午後13:00~2回	和歌山ビッグホール 軽運動場
	管外研修(社会資源研修) 松山刑務所施設研修	11月 2・3日		松山刑務所他
	第3期定例研修 生活環境調整について 講師 担当保護観察官	12月 7日	研修: 15:00~17:00	観察所4階会議室 紀三井寺「はやし」
	第3期定例研修 生活環境調整について 講師 担当保護観察官	12月 5日	研修: 15:30~17:00	観察所会議室 紀三井寺「はやし」
	第3期定例研修 生活環境調整について 講師 担当保護観察官	12月 6日	研修: 15:00~17:00	紀三井寺「はやし」
	第3期定例研修 生活環境調整について 講師 担当保護観察官	10月 9日	研修: 15:30~16:00	河北コミセン・活動室
和歌山県 保護司会連合会他	平成24年度 和歌山県更生保護功労者顕彰式	11月30日~12月1日		和泉学園
	平成24年度 和歌山県更生保護功労者顕彰式	10月 31日	14:00~16:00	ホテルグランヴィア和歌山
和歌山保護司会 更生保護女性会 協力雇用主会	平成24年度 保護司会・更生保護女性会・協力雇用主会3者合同研修会	10月 26日	研修: 15:00~17:00 懇親会: 17:30~19:30	紀三井寺はやし
更生保護女性会	和歌山県更生保護女性連盟設立55周年記念大会	11月 14日	13:30~15:30	ホテルグランヴィア和歌山

定例研修は支部間で可能な限り日程がかさならないようにと努めています。所属支部の研修に出席できない時は、事前に支部長又はサポセンに連絡し都合の良い他支部の研修会に参加してください。



人はみな、生かされて、生きてゆく。

更生保護サポートセンター 和歌山

和歌山市八番丁4
和歌山保護司会
更生保護サポートセンター

発行者 保護司会会長
編集 企画調整保護司
073-460-9298



夏祭りムード一杯の校門前で(社明グッズの定番「うちわ」を配る:更生保護女性会

去る7月21日(土)和歌山市立宮前小学校において恒例のPTA主催による「みやまえまつり」が開催され模擬店「焼きそば」「ヨーヨーつり」「かき氷」「金魚すくい」「輪投げ」など保護者、職員の昔ながらの手作り店が出てにぎわった。

ましと十種類余り以上の出店にぎわった。そのような中、宮前地区の保護司十四名、民生・児童委員三十名、更生保護女性会十名が啓発グッズの入った薬務課提供の「だめ!ぜったい!」の手提げ袋に配布物を手に手にもち「うちわ・クールバック・ウエットティッシュ・パンフレット・ボールペン・更生保護女性会手作りの配布品」総数2000点を参加者に「社会を明るくする

みやまえまつりで 宮前地区 民生・児童委員・更生保護女性会 保護司会で連携合同啓発活動



民生委員とともに薬務課提供の啓発物の配布

「薬物はだめ!」「いじめ・虐待を見たり聞いたりしたらおしえて」とうたったえながら配布した。
今年節電のためか「うちわ」が好評で「もうないの」と言われるほどであった。



PTAの協力を得て校庭内に相談コーナーから

更生保護サポートセンター和歌山では各種報告書の様式・書式をご希望の保護司の方に配布しています。

「ワード・エクセル・一太郎形式でのPC入力用」保護司の方に限ります「保護司の証票」の提示を求めることがあります。ご用意の上、サポートセンターの駐在保護司にお申し出ください。
サポートセンター 電話 073-460-9298

大阪刑務所見学会のお知らせ

日時:11月1日 9:00~17:00
主催:NPO法人和歌山県就労支援事業者機構
更生保護法人和歌山県更生保護協会

主催団体の役員・会員等で、大阪刑務所の見学会を開催いたします。詳細につきましては、県協会事務局へお問い合わせください。

電話 073-436-2501(日浦)

南支部「社明講演会」に130余名が

去る7月11日「きのくに志学館」において恒例となった社明講演会を開催しました。今回は、講師に社会を明るくする大使の桂 枝曾丸氏をお招きしました。更生保護事業に深いご理解とご支援を頂いている同氏が、十八番の和歌山のおばちゃんに扮して、ふるさと和歌山の魅力をテーマに1時間たっぷり「地域のチカラ」の大切さを語っていただきました。参加された皆さんは、笑いの中で地域の見守りの大切さや、手を差し伸べることの必要性を学んで頂けたのでは...



受付で汗を流す南支部の役員さん



笑い声と笑顔が絶えないリラックスした参加者の皆さま。でも、大切なことは、しっかりと心に...